

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	78	3.4		Ed	“各層”がより合わせたわけではないのでは？	各層が…より合わ <u>された</u> もの 又は 各層を…より合わせたもの	修正案のとおり修正します。 「各層が…より合わされたもの」
藤原	243				ケーブルの表示として「単心より合わせ形ケーブルは、単心ケーブルの各線心に施す。」とはどういことでしょうか。心とは金属ではないでしょうか。		"線心"は、絶縁体やシースを施した導体のことです。金属(導体)だけの状態のものではありません。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄(委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント): 必須入力。入力されていないと投票システム(National Ballots)が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください(例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム(National Ballots)が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2022/3/10	規格番号: JIS C8435	プロジェクト:
---------------	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
藤原	207	10.3.3			60 秒間±5 秒間	(60±5)秒間	修正案のとおり修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
下川	208 ~217	4.1.3.3 ~4.1.3.7			要求事項の内容が不明です。 用語の定義のようです。		対応国際規格に合わせて、4.1.3の細分箇条として各々の端子の種類及び定義を記載しています。 この記載について、4.1.3.1（一般）の最後に「端子の種類及び定義は、4.1.3.3~4.1.3.11を参照。」との説明を追加します。
下川	378	5.2.3			「これを超える期間」とは「約 30 日間」ですか。		ご指摘の通りです。「30 日間を超える期間」に修正いたします。
藤原	489	附属書 A b)			「数箇所の」は「複数箇所の」のほうがわかりやすいのではないかと	記載変更	「複数箇所の」に変更いたします。
加藤	773	F.3			文章を“と”で繋がらない	合計平均 \bar{x} と、標準偏差 $\sigma_{\bar{x}}$ → の合計平均 \bar{x} 、及び標準偏差 $\sigma_{\bar{x}}$	ご指摘に沿って、修正いたします。
加藤	898	附属書 JA			D.2 全体に側線があるのに、対比表に記載がない。	対比表（附属書 JA）に D.2 の側線についてのデビエーションを追加する 又は D.2 の側線削除	対比表に次の D.2 の記載を追加いたします。 「D.2.1 で放電容量及び平均電流の概念、D.2.2 で代表放電負荷抵抗の求め方、D.2.3 で代表放電容量及び代表放電負荷抵抗を用いて代表放電電圧を求めるように、項目名及び手順の明瞭化を行った。 技術的差異はない。」
若月				ge	主な改正点の一つに 「高温貯蔵後放電試験での 45 °C 貯蔵期間を 13 週から 4 週に変更した (6.1) 。」とあります。大幅に期間が短縮されていますが、この理由は何でしょうか？		対応国際規格に合わせた変更となります。 45 °C 貯蔵の目的は劣化を加速させ不良電池を顕在化させることです。過去の知見から、不良電池は 4 週間で顕在化できる事が分かっていたので、試験期間短縮を優先して、このたび変更となりました。
若月				ge	電池サイズの呼称として単 1、単 2・・・というのが一般的ですが、JIS 規格にその呼称は記載されていません。業界的には自明なので必要ないということでしょうか？		単 1、単 2 などの電池の通称は、電池の名称と共に、製品規格である JIS C 8515 に情報として記載をしています。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					<p>付属書にでもその記載があると末端の消費者としてはそこで通常の呼称と国際的に通用する形式記号がつながるので、すっきりいたします。</p> <p>見当違いのコメントかもしれませんが、電池という身近な製品は JIS のお蔭でどこでも同じものが、問題なく使えて便利というときに必ず引き合いに出されるものでしたので JIS には単 1～という記載がないことが意外でした。</p> <p>誤解等あれば教えていただけると幸いです。</p>		製品規格では、型式ごとの仕様を規定しています。この規格（通則）では、型式命名法を規定しています。
事務局		F.1			題名（一般サンプリング）を誤記のため訂正	「サンプリング」	誤記のため修正する。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
下川	153	3.1.3	図 1A		ロッカーアーム式も含む必要がありませんか。		原案どおりとします。 対応国際規格に合わせました。また、“ロッカーアーム式”はスポット溶接機に含まれる為、表記していません。
藤原	378 382 419 434	3			英語表記がない	英語表記を記載	JIS 独自の用語には、英文は付けません。ただし、3.2.14A については、3.2.14 との一貫性で、ここは英文を突きけた方がよいと委員会で決議し付けています。
藤原	407				一つの	「一つの」不要は	ご指摘通り削除します。
藤原	420 425 430 435				定格入力電圧 定格入力電圧(3.4.5)の表記を統一する。	定格入力電圧(3.4.5)	(3.4.5) を追加し、統一します。
藤原	420 430	3.4.5A 3.4.8			U2max と U2d の説明が同じとなっているが正しいか	説明が正しいか確認	3.4.8 は<直流インバータ>で内容は同じでよいです。
加藤	422	3.4.6		Ed	定格出力無負荷電圧について、用語と記号の記載があるが、定義の記載がない。定義は不要？	適宜、“定義”を記載	対応国際規格に定義がなく、合わせています。
藤原	425	3.4.7			交流式の場合の一つの出力巻線の出力電圧	交流式の場合の出力電圧	原案どおりとします。 『交流式の場合の出力電圧』で部位が明確ではない、また、変圧器には2つ出力巻線があるため。
藤原	444 449				100%使用率(3.4.4)の連続運転に対して、 100%使用率(3.4.4)に対して、	使用率(3.4.4)が 100%の連続運転に対して、	ご指摘通り修正します。
藤原	465 474	3.4.13 3.4.14 注釈			整流付きの溶接装置とあるが、ほかの箇所で整流器がでてきており、整流器付きのほうがよいので	整流付きを整流器付きに記載変更	ご指摘通り修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
		2			はないか		
藤原	501 570 866 869 1051 他	表 1 内 tp 6.3B 12.2 12.2 附属書表題 他			「波高時間」は説明が必要ではないか。		次回、改正時の審議課題とさせていただきます。
藤原	493				白紙ページ削除したほうがよいのではないか	白紙ページ削除	対応します（最終版ではきちんとなります。）。
加藤	709	11.0A	注記	Ed	“たわみの方向が逆に表れた場合”と状況が明確になっているので、プラス又はマイナスとどちらかに定義されていると思われるので、どちらか分からないということはないのでは？	プラス又はマイナスで表される → マイナスで表される 又は プラスで表される	ご提案の「マイナスで表される。」とします。
藤原	715	11.2.1			硬球と誤記	鋼球に変更	ご指摘通り修正します。
加藤	896	12.2	d) 枠 24)	ed	“必ずしも記載しなくてもよい”とあるが、874 行目にある“文書”の事を示しているのか？ アスタリスク付の項目なので、銘板のへの記載自体は任意であり、記載の有無を問うなら文書ということになる。その意味で正しいなら、誤解の内容に修正する	必ずしも <u>文書</u> に含める必要はない	『アスタリスク付の項目なので、銘板のへの記載自体は任意』なので、『注記枠 24)は、必ずしも記載しなくてもよい。』を削除します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	169	5.1		Ed	整流器自体ではなく、整流器をもつ変圧器のことを示しているのではないのか	変圧器及び／又は整流器に → 変圧器又は整流器付き変圧器に	ご指摘通り修正します。
加藤	201	6.4		Ed	JISC60664-1では、1000 mではなく、2000 mを超える高度について記載されているので、1000 m～2000mの高度での考慮について特にC60664-1に記載がないと思われる。	(JIS C 60664-1 参照)を削除? 又は 2000 mを超える高度についての情報が JIS C60664-1 に記載されている。 異なる高度での使用についての情報は、JIS C 60664-1 参照。 など。	「異なる高度での使用についての情報は、JIS C 60664-1 参照。」に修正します。
下川	295	8.6		ed	順序の統一	～、二重絶縁又は強化絶縁～	ご指摘通り修正します。
加藤	321-322	9.2.2	注記 1	Ed	<ul style="list-style-type: none"> “表面温度センサ”が急に出てきて、何を示しているのか不明。 “表面センサとは”…“測定される”では、主語と述語のつながりがおかしい 	表面温度センサとは…測定される。 → <u>温度センサとは…測定されることを示す。</u> 又は → <u>表面温度センサによって…測定される。</u>	「 <u>温度</u> センサとは…測定されることを示す。」に修正します。
加藤	335	9.2.3	表 4 注 a)	Ed	<ul style="list-style-type: none"> “、”読点は不要では? 個人用保護具・マークについては、全ての変圧器について必要なわけではないのでは? 	させることができ、 <u>変圧器</u> は個人用 → させることができ。 <u>この場合</u> 、 <u>変圧器</u> は個人用	Z8301 に従い「できる。」と記載はできないので、「させることができ、この場合、変圧器は個人用保護具」に修正します。
加藤	335	9.2.3	表 4 注 a)	Ed	“か”で文章をつながない	指定するか、 <u>高温表面記号</u> → 指定するか、 <u>又は</u> 高温表面記号	ご指摘通り修正します。
藤原	394 406 408	9.3.5 9.4.1 9.4.2			「内蔵」は、9.4.2では「埋込形」となっているため、統一したほうが良いのではないのか	どちらかに統一	「埋込型」に統一いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	416 418	9.4.3	式(1)	Ed	銅巻線が 235、アルミが 225 とあるが、式(1)中の抵抗温度係数 235 を変数 k などと記載し、“ここで”以降で k の説明として銅とアルミニウムの値について記載した方が分かり易いのでは	式(1)中 235 → k (右辺第 1 項の分子の左側を (k + θ 1) とする) R1 の説明の下に、次を追加する k は、次の抵抗温度係数である。 <ul style="list-style-type: none"> － アルミニウム巻線の場合、225 － 銅巻線の場合、235 	原案どおりとします。 溶接用変圧器の巻線材質は銅を使用する場合はほとんどで、アルミニウムで計算はまれなため併記は不要と考えます。
加藤	422	9.4.3		Ed	記録が R2 なわけではない	抵抗値の記録, R2 → 抵抗値 R2 の記録	ご指摘通り修正します。
藤原	435	9.4.6			「最終四半期」の意味がわかりにくいのではない	わかりやすく記載変更	「測定結果の記録には、試験期間の最後の 4 分の 1 の平均温度を用いる。」に修正します。
藤原	440 他	10.1 他			「整流器付き変圧器」はほかの箇所の「インバータ変圧器」「整流器付きインバータ変圧器」などと同じ意味であれば、記載を統一したほうがよいのではない	記載を統一	原案どおりとします。 整流器付き変圧器にはインバータ式でない単相変圧器及び三相変圧器も含まれるためです。
下川	490	13			「R'」と「R」の違いは何でしょうか。		R は仮想抵抗値、R' は実抵抗値を指します。
藤原	568	図 A.1 表題			「一つの定格入力電源をもつ変圧器」は「定格入力電源をもつ変圧器の一例」のほうがわかりやすいのではない	記載修正	原案どおりとします。 「定格入力電源をもつ」とするのは当然であり、ここでは複数の電源を省略しています。
下川	574	B.1			199 行からは、「以上」は「超過」でないですか。		「1000m 以上」→「1000m を超える」に修正します。
藤原	577				「100m 当たり 0.5% を下回ってはならない。」 なんのことかわからない。もう少し丁寧に書いてもよいのではない		「標高が 100 m 高くなるごとに温度上昇限界を 0.5 % ずつ下げる。」に修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
藤原	581	表 B.1			<ul style="list-style-type: none"> ・空冷式と水冷式の表を分けた方が良い。 ・579 次のように → 表 B.2 ・冷却水温度 温度 ・液体 → 冷却水 	記載変更	<p>表 B.1 は対応国際規格と合わせるため、このままとします。</p> <p>表 B.2→表 B.1 冷却水温度→冷却媒体温度 冷却水→冷却媒体 液体→冷却水 に修正します。</p>
岩本	625				<p>「温度はケルビンの単位で」は 「温度差はケルビンの単位で」とした方が良い。</p> <p>前後のΘはすべて℃表示としているので（例 599 行、635 行 ）</p>	温度差はケルビンの単位で	ご指摘通り修正します。
藤原	649	図 C.2 注記			<p>曲線は平衡を示しているという意味がわかりにくいので説明をしたほうがよいのではないかと。</p>	変圧器の温度変化は安定しているなど説明したほうがよいのではないかと	<p>「平衡」→「平衡状態」に修正します。</p> <p>※安定（定常状態）ではなく、平衡状態が正しい。</p>
藤原	713 718				<p>図番とその説明さらに本文中の説明は不要でしょうか。</p>		<p>原案どおりとします。</p> <p>説明は不要と考えます。</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
下川	114	3.1.6		ed	225 行との整合性	～の機能(性能・特性)を～	修正案のとおり修正します。
加藤	151	箇条 4		Ed	回りくどい言い方をしなくても分かるのでは？	それにもかかわらず、…済ますこともあり得る。 → ただし、…済ませる場合もある。	修正案のとおり修正します。
加藤	233	6.2.2		Ed	細別の末尾で“又は”等の次の細別と繋ぐ言葉を用いない	伝送する…”又は、 の“又は、”を削除	修正案のとおり修正します。
下川	238,239	6.2.2		ed	使用率は割合	～の割合	236 行目を、「使用率は、一年間当たりの稼働期間の割合で示すが、次のような表記も可能である。」とします。
加藤	324-325	6.3.3		Ed	“例としては…例がある。”と、“例”が重複するので、どちらか削除	現行の典型的なシナリオの <u>代表として…例がある。</u> 例としては…各現場で大量に投入される <u>ことがある。</u> など	修正案（前者）のとおり修正します。
藤原	417				最大電流負荷	最大負荷電流	修正案のとおり修正します。
藤原			図 3		イニシャルコストの矢印は、S までの方が良いのではないか (S2 までになっている)		修正案のとおり、イニシャルコストの矢印は、S までに変更します。
加藤	478	7.5.5		Ed	“式(8)を用いて、式(4)及び式(5)を簡略化すると、次のようになる。”と記載されているが、次の行に記載されているのが式(8)であり、何を意味しているのか分かり辛い。また、式(8)を用いても、式(4) (C _J)を求める式で、F を求める式(8)との関係が判り辛い) や式(5) (C _J (CO ₂)を求める式で同じく式(8)との関係が判り辛い) を簡略化できるとは思えないが、式か説明が間違っていないか？	?	478 行の「式(8)を用いて、式(4)及び式(5)を簡略化すると、次のようになる。」を「式(8)を用いて、式(4)及び式(5)を簡略化する。」に変更します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	534	8.2		Ed	いきなり何の説明もなしに JIS Q 14020 について言及しているが、この規格 (C62125) との関係が明確ではない。一般原則は JIS Q 14020 によるのか、JIS Q14020 を参考にできるのか、JIS Q 14020 を用いてどうさせたいのかが明確でない。	適用する一般原則は、次のとおりである。これは、JIS Q 14020 を基にしている。JIS Q 14020 は、顧客への信頼性のある情報提供を確実にするために、製品に関する環境情報を交換する場合に適用する一般原則について規定している。 など	ご指摘を踏まえ、次のとおり修正します。 「適用する一般原則は、次のとおりである。これは、JIS Q 14020 に基づいており、顧客への信頼性のある情報提供を確実にするために、製品に関する環境情報を交換する場合に適用する一般原則について規定している。」
藤原	586				PCR の英語表記があった方が良い。		次のように修正します。 「製品カテゴリルール (product category rules, PCR) 」
加藤	599-630	A.1~A.4		Ed	細別の位置がおかしい	細別の位置を調節する (もう一文字左から始まる)	修正案のとおり修正します。
下川	644	B.3		ed	「平均」は適当でないのでは?	「平均」を削除	修正案のとおり修正します。
加藤	828	JA.3.1	表 JA.2	Ed	導体サイズの欄の単位を項目名に入れてはどうか	項目名を “導体サイズ (mm ²) ” とし、各欄の単位 “mm ² ” を削除	修正案のとおり修正します。
加藤	833	JA.3.2	表 JA.3	Ed	導体サイズの欄の単位を項目名に入れてはどうか	項目名を “導体サイズ (mm ²) ” とし、各欄の単位 “mm ² ” を削除	修正案のとおり修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2022/3/10	規格番号: JIS D 5302	プロジェクト:
---------------	------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
藤原	82	3.1			英語表記がない	英語表記を記載	英語表記 (full charge) を記載する。
藤原	97	3.4			英語表記がない	英語表記を記載	英語表記 (nominal 10 h current) を記載する。 上記に合わせて、3.3 の英語表記 10 h nominal capacity を nominal 10 h capacity に修正する。
藤原	108	3.6			英語表記がない	英語表記を記載	英語表記 (end-of-discharge voltage) を記載する。
藤原	122	3.9			英語表記がない	英語表記を記載	英語表記 (shallow cycle endurance) を記載する。
加藤	81-89 135-137	3.1 3.2 3.13			対比表をみると、3.1、3.2 及び 3.13 は対応国際規格どおりのようなので、側線をとる	3.1、3.2 及び 3.13 の側線削除	側線は残し、対比表の 3 の技術差異の記載「追加した。」を「追加した (3.1~3.13)。」と置き換える。
藤原	114 290 344				30 秒目 → 30 秒時点 10 分目 → 10 分時点 30 秒目 → 30 秒時点		●秒/分「目」の表記はこの分野では古くから使い続けている表現で浸透しているため原案のままとする。 (D5301,5306 も同じ)
加藤	228 230 231 233 235 237	6.3.1	a)~f)	Ed	細別の項目名と、書出しが異なるので、合わせる	a) 温度の測定 温度計は…温度計とする。 → a) 温度の測定 <u>温度の測定</u> は…温度計を用いる。 又は a) <u>温度計</u> 温度計は…温度計とする。	修正案の「 <u>温度の測定</u> は…温度計を用いる。」とする。b)-f)も同様とし表現を統一する。
加藤	233	6.3.1	d)	Ed	d)だけ他と書き方が違う。(a)~f)に対する指摘とあわせて修正の検討を)	d)電圧計及び電流計 → d) 電圧及び電流の測定	修正案通りに修正する (6.3.1 全体として表現を統一する)。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2022/3/10	規格番号: JIS D 5302	プロジェクト:
---------------	------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	248-249 253	6.4.1	第 1 段落 表 2	Ge	第 1 段落では“10 時間率容量試験”及び“コールドクランキング電流試験”の両方を省略可能と記載しているが、表 2 では、供試品 1 に対しては、2 回目・3 回目の 10 時間率容量試験については省略できないように読め、矛盾している	全て免除可能であるなら、供試品 1 の段階 4・段階 6 の■を(■)とする。 2 回目・3 回目の試験免除が供試品 1 については適用できないのであれば、第 1 段落を次に修正 …省略することが可能である。ただし、供試品 1 については、10 時間率容量試験は省略できない。	供試品 1 は試験省略できないため、「ただし、供試品 1 については、 <u>10 時間率容量試験を省略することが不可能である。</u> 」を追記する。
加藤	462	附属書 JB	附属書 JA の d)、e)欄	ed	記載がない(ー)ので、何か記載する	?	JIS Z 8301 の G.3.1 の次の規定に従って、現状のままとする。 「附属書(参考)：参考情報なので、“附属書(参考)”及びその番号だけを a)欄に表記する。」

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄(委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム(National Ballots)が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください(例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム(National Ballots)が適切に作動しません。